

平成 24 年 12 月 28 日

各位

上場会社名 株式会社フジコー
 [銘柄名：F U J I K O H]
 (コード番号 2 4 0 5 東証マザーズ)
 本店所在地 東京都台東区駒形二丁目 7 番 5 号
 代 表 者 代表取締役社長 小林 直人
 問 合 せ 先 経営企画室長 清水 周二
 電 話 番 号 0 3 - 3 8 4 1 - 5 4 3 1
 U R L <http://www.fujikoh-net.co.jp>

金融債務の返済期間延長に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 31 日に公表しました「金融債務の返済金額並びに返済期間の変更に関する同意書の受領及び特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせしておりました当社金融債務の変更契約が平成 24 年 12 月末日まででありましたが、この度、お取引金融機関の皆様より金融債務の返済期間延長契約についてご承諾頂きましたので、お知らせいたします。

記

1. 経緯

当社は、廃棄物処理の適正化及びリサイクルの推進等に関する法整備や廃棄物に対する社会的な関心の高まり等に対応するため、当社白井事業所において大型の設備投資を順次実施してまいりました。

しかしながら、平成 19 年中旬以降、建設廃棄物の減少と受入単価の下落等、市場環境が急激に変化したため、営業キャッシュ・フローが当初の計画を下回り、資金繰りが悪化しておりました。このため、お取引金融機関の皆様は当社金融債務について、元本返済及び返済期間の変更を要請し、平成 22 年 3 月末にご承諾を頂きました。

当社では、取引先社数の拡大に努めた結果、新規取引先の売上割合も順調に推移しており、各廃棄物の受入平均単価も上昇傾向で推移する等、事業再建計画を策定しました平成 24 年 6 月以降の売上高は増加傾向で推移しております。一方、売上原価につきましては各施設の大型の修繕工事が前期末までに完了したことで減少し、営業利益、経常利益は事業再建計画値を上回っております。

この様な状況下におきまして、営業キャッシュ・フローは黒字を継続しておりますが、当社の有利子負債の元金、利息の支払い並びに設備投資に関する割賦未払金、ファイナンスリース未払金の返済金額は営業キャッシュ・フローと比較しますと高水準な状況が継続しておりますので、お取引金融機関の皆様に対し、平成 25 年 1 月以降の返済金額につきましてもこれまでと同一条件による返済契約の締結を要請しておりましたが、この度、お取引金融機関の皆様（10 行）より金融債務の返済期間延長についてご承諾を頂きました。

なお、各借入の変更契約等につきましては個別に事務手続きを行う予定です。

2. 債務の内容

借 入 先	借入先金融機関 10 行
債務の種類	借入金
債務の総額	1,316 百万円（金融機関債務の 100%）

3. 返済計画の内容

この度の返済計画期間は平成 25 年 1 月より平成 25 年 12 月末日までの 12 ヶ月間であり、計画期間の返済額は以下の通りであります。なお、返済計画は、借入先の借入残高を維持し、当該期間における返済条件を緩和する内容でありますので、債務免除及び金利の減免はありません。

平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月 200 百万円

※平成 26 年 1 月以降の返済につきましては、平成 25 年 12 月までに各金融機関と協議の上、平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月の変更契約を要請する計画であります。

4. 今後の見通し

現在の取り組みを強化することにより、売上高の向上に努めるとともに売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めることにより、営業キャッシュ・フローの拡大に注力し、財務体質の改善に努めてまいります。

以上